

富士市事前都市復興計画策定に係る「第5回市民懇話会」 議事録概要

■開催日等

- ・日時：平成27年10月30日（金） 15:00～16:30
- ・場所：富士市役所 9階 第二委員会室

■出席者

- ・学識経験者 池田 浩敬 (常葉大学 社会環境学部 教授)
 - ・各種関係団体の代表者 清水 和広 (富士商工会議所 事務局長)
 - ・ " 松野 俊一 (富士市町内会連合会 副会長)
 - ・ " 池野 裕介 (静岡県土地家屋調査士会富士支部 理事)
 - ・ " 遠藤 典生 (富士市建設業組合 副組合長)
 - ・ " 渡邊 雅子 (富士市地域防災指導員会 副会長)
 - ・ " 竹村 健二 (富士市NPO協議会 監事)
 - ・ " 赤堀 美枝子 (女性ネットワーク富士 副会長)
 - ・市民代表者 齊藤 貴宣 (市民公募)
 - ・ " 眞山 美知代 (市民公募)
 - ・関係行政機関の職員 日野原 武 (静岡県都市計画課都市計画班 主査)
 - ・ " 黒田 健嗣 (静岡県危機政策課危機専門監)
- ※静岡県はオブザーバーとしての参画

■欠席者

- ・各種関係団体の代表者 杉山 るみ (富士市建築士会 会長)

■事務局

- ・都市整備部都市計画課 渡辺課長、鈴木統括主幹、野毛主幹、道倉上席主事
- ・総務部防災危機管理課 佐野統括主幹、市川主査
- ・昭和株式会社 都市調査室 上坂、石田
静岡支社 岡井

■次第

- 1 開会
- 2 協議事項
 - ・富士市事前都市復興計画パブリックコメント（案）について
- 3 報告事項
 - ・富士駅北口周辺地区復興まちづくり訓練の実施結果について
 - ・今後のスケジュールについて
- 4 閉会

■配布資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・富士市事前都市復興計画（案）
- ・富士市事前都市復興計画（案） 概要版
- ・富士駅北口周辺地区復興まちづくり訓練 実施記録
- ・富士市事前都市復興計画策定に係る今後のスケジュール

■議事概要

2 協議事項

・富士市事前都市復興計画パブリックコメント（案）について

- 「I はじめに」として、これまで復興ビジョン編に記載していた、本計画の概要と構成について、をここで記載することとした。（事務局）
- p.5 事前都市復興計画の構成について、これまでの3編構成から、復興ビジョン編、復興プロセス編の2編構成とし、別冊で富士市事前都市復興計画行動マニュアルを作成する。（事務局）
- p.25 に、基本理念の「災害発生後も住み続けたいと思えるまち」とはどのようなものなのか、イラスト（作成中）を入れた説明を追加した。（事務局）
- p.27 から、以前参考資料として提示した、復興地区区分の設定方法等を追加した。（事務局）
- p.35 地域の復興まちづくりについて、迅速かつ着実な復興の推進のためには、地域特性等に応じた各地域の復興方針等が必要で、市民・行政・専門家等の連携が必要だと記載している。（事務局）
- p.39 復興まちづくりのステップの各期間の名称を、緊急対応期、応急復旧期、復興始動期、本格復旧期に変更した。（事務局）
- p.41 復興まちづくりの体制について、今回は市民・事業者・行政の役割を細かく記載していたが、分野別の復興プロセスの中で記載することとし、ここでは復興まちづくり体制を記載している。（事務局）
- p.45 分野別の復興プロセスについて、各項目の市民・事業者・地域・行政のうごきのそれぞれの関連性が分かるように構成を変更した。（事務局）
- p.63 事前都市復興計画の運用について、計画全体にかかることであるため、復興ビジョン編の最後から、計画の最後に移動した。全庁訓練や復興まちづくり訓練成果も計画に反映する旨を記載した。（事務局）

《主な質疑、意見等》

- 現在、まちづくり協議会の条例案を検討中で、その中での「自助・共助・共助」の表現と異なっているようなので、整合させる必要がある。（松野委員）
⇒ 庁内策定委員会で、担当課のまちづくり課に確認する。（事務局）
- p.50,51 の発災前の項目に関して、最近空き家や空きアパートの問題が挙げられている。事前に調査し、できれば撤去してほしい。（清水委員）
⇒ 今年度、空き家の実態調査を行っており、本年度以降対策を検討する予定となっている。計画の中にどのように記載するかは検討する。（事務局）
⇒ 復興まちづくり訓練でも空き店舗の意見が出ていた。（座長）
⇒ 現在、町内会長が調査中だと聞いている。（松野委員）

- p.46,47の「復興方針の策定」とは、修復型なのか、など、何の方針かを示しておいたほうが良い。「復興まちづくり計画策定」の中で、住宅、医療福祉、商工業等、ほかの分野との整合をとることを示しておいたほうが良い。また、p.50,51に教育の項目が唐突に入っているのが気になる。(座長)
- ⇒事務局で検討いたします。(事務局)
- 東日本大震災の被災者の1年半後のニーズとしては、住環境、交通、教育・医療・介護環境が高いというデータが出ている。座長からもあったが、教育が住宅の復興プロセスに含まれている点について、医療・福祉・介護に入れるほうが良いと感じる。(齊藤委員)
- ⇒一度医療・福祉・介護に収めようとしたが、しっくりこなかったため、住宅の項目に入れている。良い方法がないか再度検討したい。(事務局)
- 説明会の項目がいくつかあるが、説明会は1回で終了してしまう印象がある。復興まちづくり訓練もそうだったが、夜の説明会では女性はほとんど参加できない。多くの人が出席できるよう、回数や時間帯に配慮してほしい。(渡辺委員)
- ⇒1回だけの開催とは考えていない。多くの人に出席いただけるよう、開催方法は検討し、マニュアルに記載したい。(事務局)
- ⇒東北でも、昼間にワークショップを開催したり、出席できない人への周知としてまちづくりニュースを発行したりした。(座長)
- p.56の商工業の復興プロセスを見ると、商業の色が強いように感じるが、富士市は工業のまちなので、店舗イメージとは異なる。(清水委員)
- ⇒商業をメインとしたわけではないが、表現は検討したい。(事務局)
- ⇒商工会と相談して決めて欲しい(座長)
- p.47「計画的な地籍調査の実施」とあるが、地籍調査を優先的に実施するエリアは復興重点地区と一致しているのか。また、市民のうごきには「地籍調査に協力する」と漠然とした記載がされているが、復興を早く進める重要な項目だと思うので、ほかに何かないのか。(池野委員)
- ⇒復興重点地区は発災後でないとわからないため、地籍調査の計画への反映は難しいと考えている。現在は津波浸水被害が想定されているエリアを優先して地籍調査を実施している。また、市民のうごきとしては、協力のお願以上の記載は難しいと考えている。(事務局)
- 県でも事前復興をしっかりとってほしいと方針を出している。復興まちづくり訓練をどの程度までやっていただけるかと思っていたが、復興まちづくり計画作成まで実施する予定ということで、早期の復興のために、住民と協働による検討を進めてほしい。(日野原委員)
- 発災後の道路啓開や応急復旧工事の連携に向けた窓口設置についての記載を入れてほしい。(池野委員)

⇒計画内のどこに記載するか、検討したい。(事務局)

⇒復興の体制等に含めてはどうか。(座長)

3 報告事項

・富士駅北口周辺地区復興まちづくり訓練の実施結果について

- ▶ 富士駅北口周辺地区復興まちづくり訓練として、本年度6月から10月にかけて、富士駅北口周辺地区の富士町、富士本町、銀座町の3町内会にかかる地区において、復興まちづくり訓練を実施した。(事務局)
- ▶ 復興まちづくり訓練では、各回の進行や内容の検討等、池田先生に非常に多くのご協力・ご支援をいただいた。(事務局)
- ▶ 建築士会や地域防災指導員の方にはアドバイザーとしてご参加いただき、また大学のゼミ生にも参加いただき、貴重なご意見をいただいた。(事務局)
- ▶ 各回の内容は、第1回が発災後の住宅と商店街を考える、第2回が仮設住宅団地、仮設商店街の計画を考える、第3回、第4回が商店街の復興像を考える、をテーマに、意見交換をした。(事務局)
- ▶ p.37 以降は、復興まちづくりニュースとして、地域への回覧と委員のみなさまに配布したもので、ホームページ上にも掲載している。(事務局)

《主な質疑、意見等》

- 今年度復興まちづくり訓練を実施したが、復興まちづくり計画のような提案をつくるころまではいかなかった。いろいろな意見を持つ人がいることが分かったこと、いろいろな取組み、アイデアなどが出たことが成果であった。ほかの地域でも継続できれば良い。事前にできることを考えておくことで、発災後の復興のスタートを早められると感じている。(座長)

・今後のスケジュールについて

- ▶ 12月にパブリックコメント案の議会報告、その後1月4日から2月4日にかけてパブリックコメントを実施し、2月上旬に意見への回答をする。2月下旬から3月上旬ごろ、第6回市民懇話会を開催予定で、3月上旬に最後の庁内策定委員会を開催し、計画策定となる。(事務局)

4 閉会

以上